

# 【令和7年12度調査】 にししん景気動向調査レポート

調査内容：令和7年10月～12月の業況、令和8年1月～3月の先行き予想

実施時期：12月1日から12月5日

回答先

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
195	187	36	121	54	53	646

## 結果の要旨

### 【全体】景気は持ち直すも先行き慎重

- ・今期実績は、業況・売上高・収益の各判断D.I.が現在いずれも前期比で改善しており、地元景気は持ち直しの動きがみられる状況である。
- ・来期予想は、業況・売上高・収益の各判断D.I.がいずれも低下を見込んでおり、景気の先行きについては慎重な見方が強い状況である。

### 【業種別】業況改善に濃淡あり

- ・今期実績では、建設業やサービス業を中心に改善がみられる一方、小売業や製造業では弱含みも残り、業種間で差が生じている状況である。
- ・来期予想では、多くの業種で業況悪化を見込む声が広がっており、今期改善した業種においても先行き不透明感が強まる結果となった。

## ①全体の景況

### 当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
7/09	-7.2	5.8	8.3	4.9	-5.5	5.6	0.9
7/12	-3.5	9.5	2.7	10.0	-5.5	7.5	3.8
8/03 予測	0.5	3.7	-11.1	8.3	-11.1	3.7	1.5

### 当期売上額判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
7/09	3.0	8.0	2.7	4.9	7.4	1.8	5.1
7/12	4.1	9.5	16.6	16.6	12.9	3.7	9.4
8/03 予測	6.1	4.2	-11.1	7.5	-11.1	3.7	3.2

### 当期収益判断D.I.

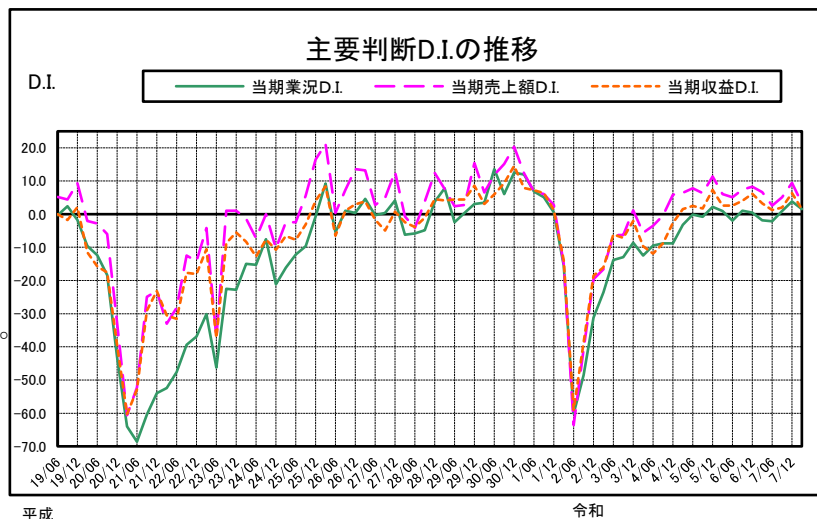
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
7/09	-3.0	8.5	2.7	4.1	-5.5	0.0	2.0
7/12	-0.5	10.1	19.4	13.3	-3.7	3.7	6.3
8/03 予測	2.5	5.3	-8.3	3.3	-12.9	1.8	1.5

### 【当期実績】

- ・当期業況判断D.I.は3.8(前期比+2.9)、当期売上高判断D.I.は9.4(同+4.3)、当期収益判断D.I.は6.3(同+4.3)と、いずれも改善した。

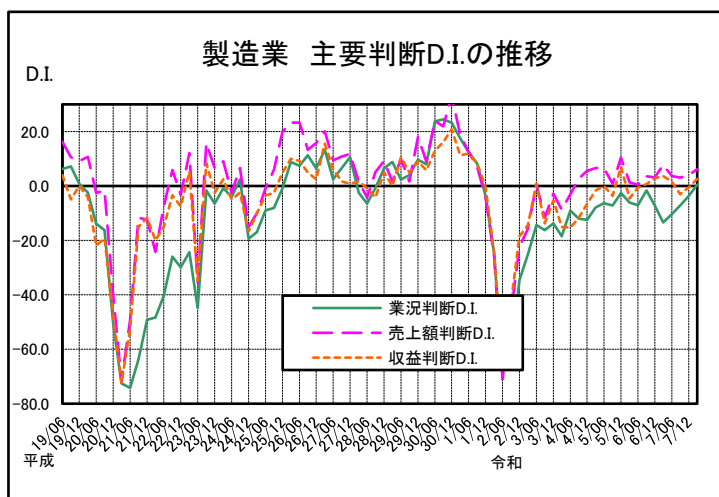
### 【来期予想】

- ・来期予想は、業況判断D.I.は1.5(当期比▲2.3)、売上高判断D.I.は3.2(同▲6.2)、収益判断D.I.は1.5(同▲4.8)と、いずれも悪化を見込む。



\*D.I.は「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める割合から、「減少」(下降)したとする割合を引いて算出。

## ②業種別の景況



製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
7/09	-7.2	3.0	-3.0
7/12	-3.5	4.1	-0.5
8/03 予測	0.5	6.1	2.5

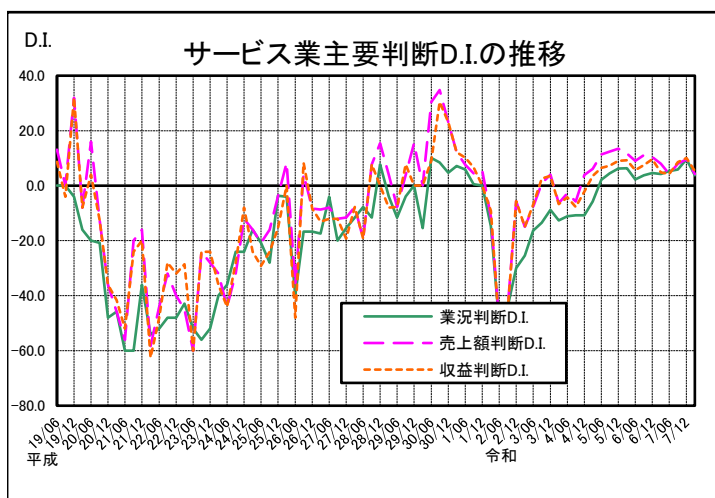
〈製造業〉

・当期業況判断D.I.は▲3.5(前期比+3.7)、当期売上高判断D.I.は4.1(同+1.1)、当期収益判断D.I.は▲0.5(同+2.5)と、いずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は0.5(当期比+4.0)、売上高判断D.I.は6.1(同+2.0)、収益判断D.I.は2.5(同+3.0)と、いずれも改善を見込む。

・経営上の問題点では「売上の停滞・減少」が36.9%と最も多く、次いで「人手不足」が24.6%、「原材料高」が24.6%であった。

・当面の重点経営施策では「販路を広げる」が53.8%と最も多く、次いで「経費を節減する」が49.2%、「人材を確保する」が16.9%であった。



サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
7/09	5.8	8.0	8.5
7/12	9.5	9.5	10.1
8/03 予測	3.7	4.2	5.3

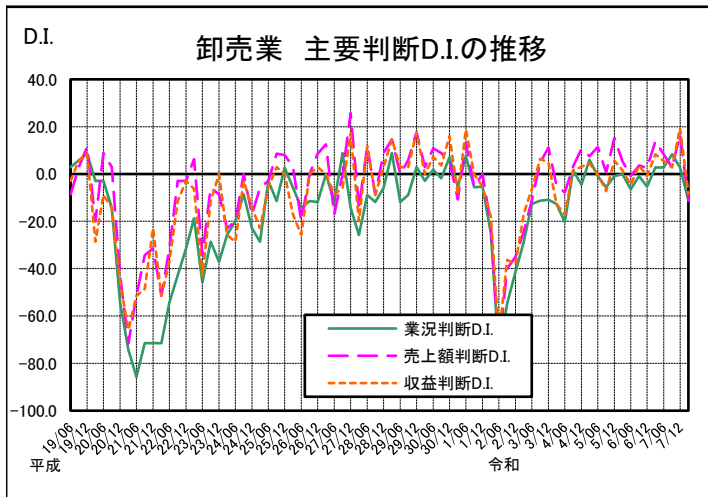
〈サービス業〉

・当期業況判断D.I.は9.5(前期比+3.7)、当期売上高判断D.I.は9.5(同+1.5)、当期収益判断D.I.は10.1(同+1.6)と、いずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は3.7(当期比▲5.8)、売上高判断D.I.は4.2(同▲5.3)、収益判断D.I.は5.3(同▲4.8)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「同業者間の競争の激化」が26.6%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」が23.9%、「人手不足」が22.3%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が45.7%と最も多く、次いで「販路を広げる」が36.7%、「人材を確保する」が17.6%であった。



卸売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
7/09	8.3	2.7	2.7
7/12	2.7	16.6	19.4
8/03 予測	-11.1	-11.1	-8.3

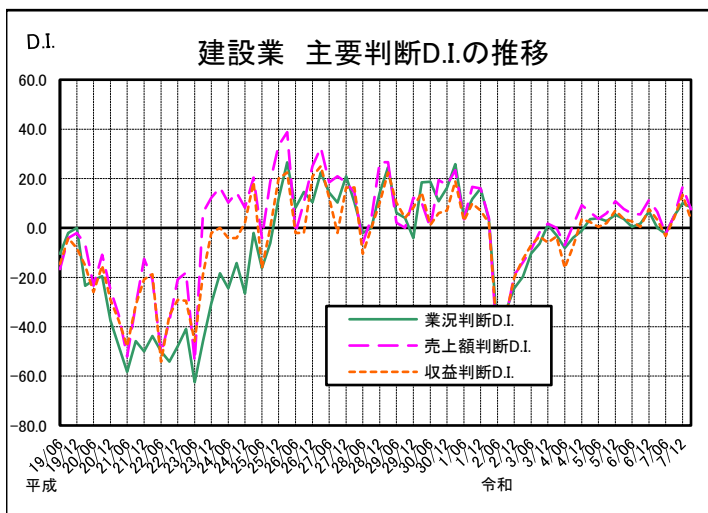
〈卸売業〉

・当期業況判断D.I.は2.7(前期比▲5.6)、当期売上高判断D.I.は16.6(同+13.9)、当期収益判断D.I.は19.4(同+16.7)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲11.1(当期比▲13.8)、売上高判断D.I.は▲11.1(同▲27.7)、収益判断D.I.は▲8.3(同▲27.7)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「売上の停滞・減少」が36.1%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」が27.8%、「利幅の縮小」が16.7%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が63.9%と最も多く、次いで「販路を広げる」が61.1%、「情報力を強化する」が25.0%であった。



建設業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
7/09	4.9	4.9	4.1
7/12	10.0	16.6	13.3
8/03 予測	8.3	7.5	3.3

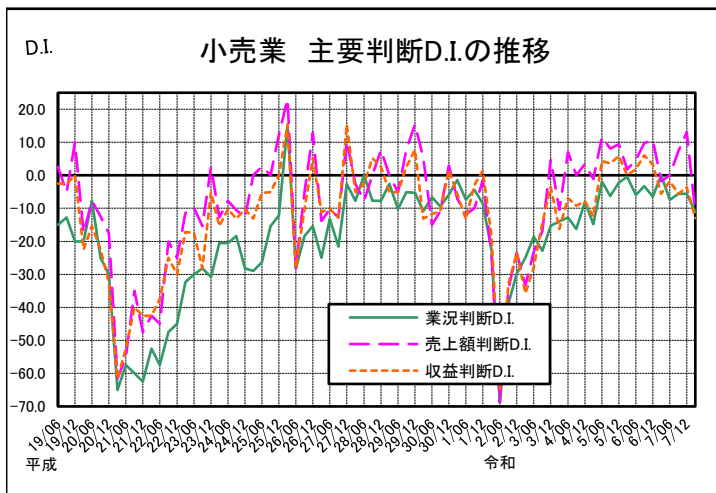
〈建設業〉

・当期業況判断D.I.は10.0(前期比+5.1)、当期売上高判断D.I.は16.6(同+11.7)、当期収益判断D.I.は13.3(同+9.2)と、いずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は8.3(当期比▲1.7)、売上高判断D.I.は7.5(同▲9.1)、収益判断D.I.は3.3(同▲10.0)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「材料価格の上昇」が36.7%と最も多く、次いで「人手不足」が30.8%、「売上の停滞・減少」が25.0%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が54.2%と最も多く、次いで「販路を広げる」が42.5%、「人材を確保する」が29.2%であった。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
7/09	-5.5	7.4	-5.5
7/12	-5.5	12.9	-3.7
8/03 予測	-11.1	-11.1	-12.9

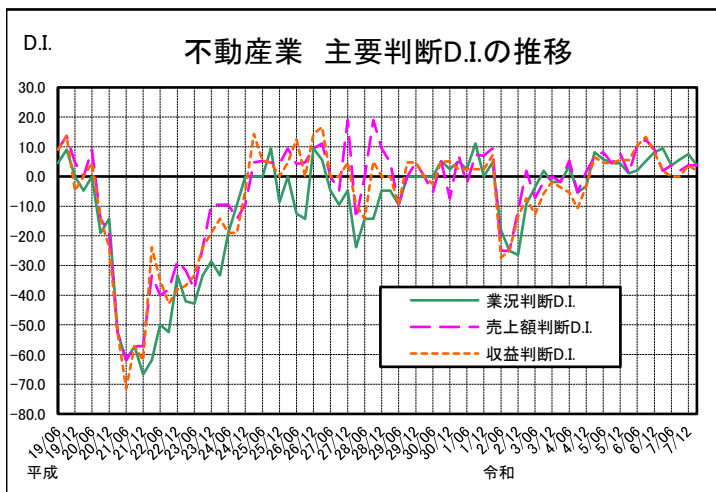
<小売業>

・当期業況判断D.I.は▲5.5(前期比0.0)、当期売上高判断D.I.は12.9(同+5.5)、当期収益判断D.I.は▲3.7(同+1.8)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲11.1(当期比▲5.6)、売上高判断D.I.は▲11.1(同▲24.0)、収益判断D.I.は▲12.9(同▲9.2)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「売上の停滞・減少」が44.4%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」が25.9%、「利幅の縮小」が20.4%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が51.9%と最も多く、次いで「宣伝・広告を強化する」が22.2%、「品揃えを改善する」が16.7%であった。



不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
7/09	5.6	1.8	0.0
7/12	7.5	3.7	3.7
8/03 予測	3.7	3.7	1.8

<不動産業>

・当期業況判断D.I.は7.5(前期比+1.9)、当期売上高判断D.I.は3.7(同+1.9)、当期収益判断D.I.は3.7(同+3.7)と、いずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は3.7(当期比▲3.8)、売上高判断D.I.は3.7(同0.0)、収益判断D.I.は1.8(同▲1.9)を見込む。

・経営上の問題点では「同業者間の競争の激化」が18.9%と最も多く、次いで「利幅の縮小」が15.1%、「商品物件の高騰」が13.2%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が30.2%と最も多く、次いで「情報力を強化する」が22.6%、「宣伝・広告を強化する」が17.0%であった。